

## 令和3年度 第1回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和3年5月18日（火曜日） 10時から12時まで

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、WEB上での意見交換による開催）

出席者 佐藤委員、蛭川委員、堤委員、杉田委員、池田委員、中島委員、花形委員、藤田委員、  
吉澤委員、北川委員

欠席者 藤井委員

傍聴 2名

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長森下 他6名

### 1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料確認</li><li>次第</li><li>資料1 令和3年度東京都相談支援従事者研修検討会委員名簿</li><li>資料2 東京都相談支援従事者研修検討会設置要綱</li><li>資料3 令和3年度障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案）</li><li>資料4 令和3年度障害者総合支援法等関連研修 年間スケジュール（案）</li><li>資料5 令和3年度東京都相談支援従事者研修検討会 年間活動方針及び計画案について</li><li>資料6 令和3年度東京都相談支援従事者現任研修教材案</li><li>参考資料1 令和2年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告</li><li>参考資料2 令和2年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告</li><li>参考資料3 令和2年度相談支援従事者指導者養成研修（国研修）受講報告</li><li>参考資料4 相談支援従事者初任者研修・現任研修における実習への協力について（依頼）</li><li>・本日の検討会は、記録のための録音、傍聴者がいることについてご了解いただきたい。</li><li>・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため開催方法を変更し、WEB会議になった。意見がある時は挙手等で知らせていただきたい。</li><li>・委嘱状は会場でお渡しする予定だったが、郵送とさせていただく。</li></ul>
-----	---

### 2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

地域支援課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・お忙しい中、第1回東京都相談支援従事者研修検討会にご参加いただき、また、委員就任についてご快諾いただき、感謝申し上げます。</li><li>・緊急事態宣言の延長や変異株の蔓延等、新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予断を許さない状況となっている。</li><li>・このような状況下でも、障害者総合支援法等関連研修については着実に実施し、必要な人材を確保する必要がある。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止させていただいた現任研修の開催時期も迫っている状況であ</li></ul>
--------	---

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変限られた時間ではあるが、委員の活発な議論を踏まえ、実行性のある研修にしていきたい。</li> </ul>
--	--

### 3 委員紹介

#### ○自己紹介

各委員	(省略)
-----	------

### 4 委員長・副委員長選出及び委員長挨拶

藤田委員	・昨年度に引き続き、法政大学の佐藤教授を推薦する。
各委員	・承認する。
事務局	・副委員長については、委員長が指名することでどうか。
佐藤委員長	・副委員長については、昨年度同様、話し合いをもって決めていきたい。
各委員	・承認する。
佐藤委員長	・昨年度に引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。この検討会を通して皆様と一緒に良い方向を見出していきたい。
事務局	・これより先の進行は、佐藤委員長にお願ひする。

### 5 検討事項

#### (1) 年間研修実施計画について

佐藤委員長	・年間研修実施計画について、事務局から説明いただきたい。
事務局	<p>(資料4 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会については年4回で5、8、11、3月頃の予定</li> <li>・演習指導者養成研修は初任者研修と被らせる形で定員20名の予定</li> <li>・相談支援従事者初任者研修は年度後半に定員500名予定。募集時期は7月頃で、9月頃に受講決定し、9月後半に講義、10月から5日間の演習があり、最後の演習日程が終わるのが2月頃の予定</li> <li>・相談支援従事者現任研修は年度の前半で既に受講者の募集は終わっており、6月の中旬に受講者を決定する予定。6月中旬に講義の動画配信、7月から演習を始める予定。現任研修の規模としては900名</li> <li>・相談支援従事者主任研修も年度の後半で実施する。募集時期は10月頃の予定で、実施は2、3月頃の予定</li> <li>・専門コース別研修は昨年度中止となったが、今年度は動画配信での実施を検討中</li> </ul>
佐藤委員長	・質問等がなければ、次に進みたい。

(2) 相談支援従事者現任研修プログラムについて

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援従事者現任研修プログラムについて、事務局から説明いただきたい。</li> </ul>
事務局	<p>(資料4 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現任研修の申込みについては4月28日に締め切り、定員900名のところ854名の申込み、取下げ等もあり、831名の受講者数を想定している。受講決定は6月上旬予定</li> <li>現任研修は、1日目が講義、2日目からが演習で、実践の振り返り、インターバルとして実習を挟み、3日目に実習報告とチームアプローチ・多職種連携について、最終日の4日目はコミュニティーワークということになっている。</li> <li>講義は6月16日から22日までの動画配信、撮影は本日5月18日と20日に行う。</li> <li>演習については演習ノートをベースに進める。演習ノートと事前課題案については昨日行われた現任研修検討チームの打合せで確認している。</li> <li>受講者には事前課題のガイダンス資料と共に6月2日か3日には発送予定</li> <li>今年度の演習でも新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、黙読やラウンド等を取り入れていかざるをえない。</li> <li>現任研修はグループに1名ファシリテーターが付かず、受講者が進行するため、進めやすいようテーブルをコの字の配置にする。ただし、受講者間は2メートルの距離を取る。昨年度のテーブル配置はピラミッド型で行ったが、その時よりもグループワークが進めやすくなるのではないかと考えている。</li> <li>演習は11日程。F日程とG日程については、一部合同で定員1,500名の大会場にて、24グループ、114名での演習となる。ご理解いただきたい。</li> </ul> <p>(資料6 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題は2点ある。</li> <li>事前課題1は、研修2日目で受講者の実践の振り返りをするための報告作成。初任者研修と同様に協力者の承諾を取ることにしている。</li> <li>事前課題2は、協議会本会議や部会に参加し記録を作成すること。</li> <li>取り組む時期と提出については資料3ページのイメージ図を参照</li> <li>実習では、研修2日目の実践の振り返り演習に取り組んだことを元に拠点機関から助言を受ける。受講者への実習の説明は研修2日目に行う。</li> <li>感染防止対策として事務局ではオンラインでの実施を推奨する。難しい場合は、拠点機関との合意があれば、感染防止対策を図り、対面で行うこともやむを得ないと考えている。</li> <li>昨日行われた現任研修検討チームの打合せで、拠点機関へのガイドを示す必要があるとの意見があった。このことについては事務局で詰めることとする。</li> <li>受講者は、課題を始める前に区市町村窓口の指示を仰ぐこととしている。区市町村には春先に課長会で説明し、参考資料4のとおり協力を依頼した。この後、事務局から全区市町村の窓口担当者に拠点機関の選定や協議会の予定等に</li> </ul>

	<p>ついて確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習ファシリテーターは、初任者研修分と合わせて協力を依頼した。</li> <li>・現任研修については、メインファシリテーター23名ほど、ファシリテーター69名ほど必要。6名ほど足りない状況で再調整中。早々に確定をしたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーターの確保が課題だと伺っているが、事務局としてはどう考えているか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しい状況だが、まだ調査票を提出いただいていない方と調整をしていきたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体への協力要請も課題と伺っている。参考資料4のところに現任研修検討チームの皆様へ頂戴したスーパービジョンを入れる意図やどこをポイントにしてほしいのかということ盛り込めたら良いと思った。</li> <li>・現任研修のプログラムについては、承認ということで進めたい。</li> </ul>

### (3) 専門コース別研修のテーマ設定について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門コース別研修のテーマ設定について、事務局から説明をお願いしたい</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の専門コース別研修は2回、年度の後半にオンライン配信で実施予定。年間の定員400名、修了証書を発行する研修になる。</li> <li>・テーマとしては、昨年度の国研修で示された意思決定支援とこれまで都が独自に初任者研修で取り上げてきた「障害者の生活ニーズ」の内容を想定している。</li> <li>・1回目は基礎的な意思決定支援について、2回目は当事者から見た意思決定を学ぶ案を考えている。</li> <li>・企画検討については、国研修に参加された藤田委員にお願いをし、企画検討したものを第2回検討会で提案したい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門コース別研修のテーマ設定について、意思決定支援と障害者のニーズについて改めて問い直していく研修テーマと理解していただきたい。</li> <li>・藤田委員におかれましても、中心になってたたき台の作成の協力をお願いしたい。</li> <li>・専門コース別研修は事務局で企画案を作成し、第2回検討会で提示することについて承認していただいたということで進める。</li> </ul>

### (4) 検討会年間活動方針及び計画案について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の検討会の年間活動方針及び計画案について、事務局から説明いただきたい。</li> </ul>
-------	---

事務局	<p>(資料5 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動方針の案として、一つ目が、新しい国の標準カリキュラムに基づいた東京都版の研修教材を作成し検証すること、二つ目が初任者研修及び主任研修について昨年度の研修を検証し、プログラムのブラッシュアップを図ること、三つ目が安定的な研修の実施及び質の担保を図るため、研修講師の養成と確保について検討することの3点を挙げる。特に、三つ目については研修の規模が大きくなり、内容も複雑になっており、講師をどう養成したら良いか、協力していただく方をどのように呼びかけていったら良いか、意見をいただきたい。</li> <li>・検討体制として検討チームの編成案を提示した。</li> <li>・研修講師の養成と確保については、委員長と各研修のチームリーダーを中心に素案を作成し、第2回以降の検討会で検討することとしたい。</li> <li>・年間活動計画案については、それぞれのチームの本日の議論内容を入れるために空欄にした。</li> <li>・国研修受講者の推薦については、今年度も東京都の研修に協力いただける方に依頼する方向で進めたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に安定的な研修及び質の担保を図るため、研修講師の養成と確保について検討するというのが、まさに昨年度からの検討事項ということで提起された部分なので、これを1年間かけて検討していきたい。</li> <li>・私を含めてチームリーダーである初任者研修の杉田委員、現任研修の中島委員、主任研修の吉澤委員の3名の方と事務局とで素案を作っていくという方針をここで承認していただきたい。</li> <li>・また、この後のチームに分かれての話し合いでは、主任研修検討チームのメンバーが分かれてしまうので、主任研修の活動計画案の意見については、この場で事務局案について意見をいただきたい。</li> <li>・演習指導者養成研修検討チームは、花形委員がリーダーになりつつ、初任者研修の方々と一緒に演習指導者養成研修のところを詰めていくようなイメージで良いか、意見をいただきたい。</li> </ul>
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習指導者養成研修を受けていないファシリテーターが学ぶ機会がなくて良いか。現任研修との紐づけをどう考えたら良いのかという思いがあるが、初任者研修のファシリテーターを申し込む人の研修とするならこれで良いと思う。</li> <li>・また、演習指導者養成研修検討チームは、一人担当で協力者の負担が大きかったため、今後の質の担保や他の協力者の養成と確保についても考えていけると良い。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の委員は、一人なので確かに補強していく必要はあり、意見をいただきたい。</li> <li>・現任研修との紐づけについて、現任研修検討チームリーダーの中島委員から意見をいただきたい。</li> </ul>

中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の現任研修のファシリテーター養成については演習指導者養成研修と切り離して、現任研修検討チームだけで行っていくという形になるが、今後の整理の中では、今回の活動方針として加わった研修講師の養成と確保という点で検討が必要ではないか。</li> </ul>
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修に引き寄せた形で演習指導者養成研修はスタートしているが、演習指導者もレベルアップはしていくわけで、初任者研修だけでなく、いろいろな形でいろいろな経験を積んでいくのも大事である。年間活動方針案の三つ目、研修講師の養成と確保部分で、検討できればいいと思う。</li> <li>・この部分を検討するためには、演習指導者養成研修検討チームの花形委員を抜かしてはこの検討はできないので素案作りから参加していただきたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花形委員、いかがでしょうか。ご参加いただけますか。</li> </ul>
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。光栄でございます。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修講師の養成と確保について、検討する際は、演習指導者養成研修が二段階の形もありうるという部分も含めて検討し、今年度後半に事務局から提案できればと思う。</li> </ul>
吉澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研修検討チームは、チーム編成だけでも5月中にしなければいけないと再認識した。</li> <li>・研修講師の養成や確保という点で見れば、次年度以降現任研修と演習指導者養成研修を紐づけることについて検討していく。一方で、主任研修に関しては、そもそも主任相談支援専門員は地域の中核をなす人材だが、その地域というのは自分たちがフィールドとする区市町村だけなのか、東京都という範囲で考えていくことも必要ではないかということは、これまでも議論してきた。</li> <li>・主任研修を受講ないし修了した方には、講師を担っていただくことを約束していただけるといいのではないか。</li> <li>・ファシリテーターの練習の場にも少なからずなっていく必要があるかと議論の中で感じた。</li> <li>・受講者層がこれからチームのリーダー層、もともとそのチームで活躍していた方以上に広がっていくし、一人相談支援専門員職場の方もこれから希望をしてくるような状況になるであろうし、いろいろな課題はあるという確認だけはしている。少し早めにチーム編成だけでも動いていけたらいい。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研修の活動計画内容についてはどうか。</li> </ul>
池田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研修については受講者層が変わってくると同時に、現任研修とリンクさせたOJTを地域の主任相談支援専門員がどこまで担っていけるのか不安に感じる。</li> <li>・演習指導者養成研修は初任者研修のファシリテーション技術を磨くということだけでなく、主任研修の短い時間では語り切れないOJTに関しても少し強化していくようなプログラムになったらいいと思った。</li> <li>・専門コース別研修の中で、意思決定支援はとても重要で、法人でも意思決定支</li> </ul>

	<p>援の研修を毎年開いているが、演習指導者養成研修の中で専門コース別研修と何か組んでいける仕組みがあると良い。</p>
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任相談支援専門員の役割は本当に重くて大きい。それを継続して意識を持ってやっていくには、いろいろなところに紐づけていかないといけないと感じた。</li> <li>年間活動計画で、せめて5月にチーム作りだけでもと思う。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間活動計画案は、主任研修検討チームの部分も含めチームごとの話し合いの後、全体のところで最終承認をいただきたい。</li> <li>確かに主任研修の在り方は難しい。主任相談支援専門員になると自分を磨いていく場所は少なくなると思うので、自分の技術をブラッシュアップしていく場を多く確保した方がいい。</li> <li>社会福祉士、精神保健福祉士のカリキュラムも今年度から変わった。どの教育内容もブラッシュアップされていくようなところがある。こちらの研修にも反映できるといい。</li> <li>これからチームごとで話し合っていたきたい。報告についてはチームリーダーの皆様をお願いしたい。</li> </ul>
	<p>(チームに分かれての話し合い。記録は省略)</p>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームごとで話し合いをしていただいた活動計画の内容について、報告をお願いしたい。</li> </ul>
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず、活動内容とスケジュールの前に、協力者の方にできるだけ早く協力してもらいたいので、事務局と相談したいことが一番目</li> <li>初任者研修の場合、昨年1度やっているが、大きく修正が必要な個所があり、6月中旬まで週1回ぐらいミーティングの日程を取り、整理するポイントと具体的にどう変えていくのかというところを話し合っていきたい。</li> <li>話し合いができれば演習ノートに反映していくことができるので、7月末をめどに演習ノート、ツールの確定ができれば良いと思っている。それを演習指導者養成研修検討チームにつなぎ、演習指導者養成研修チームの方にはファシリテーター説明会でどう説明していくかに注力してもらおう。実際の演習に使うスライドやパワーポイント等の作成については、初任者研修検討チームの方で間に合うように進めていくという話し合いができた。</li> <li>言葉の部分で、昨年ノーマティブニーズを何と表現するかという部分でやりとりがあったので、講義資料の印刷にきちんと間に合うように進められたらいい。</li> <li>協力者はまず昨年度のメンバーに声をかけたい。加えて、検討会委員も協力者も昨年と全く変わらないというよりは先につながる意味で新しい方に声をかけてみようという話が出た。</li> </ul>
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現任研修検討チームの活動内容としては9月16日が現任研修の最終日になるのでそこまでは研修の実施になる。</li> <li>それ以降に関しては、10月、11月、12月の研修が終わってまだ時間が空かな</li> </ul>

	<p>いところで、振り返りとブラッシュアップをしていこうと確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修作りと実際の地域との連動性がなかなかうまくいっていないのではないかという課題が見えてきた。</li> <li>・今年度研修が終わった後に、実際のインターバルの状況について情報を集めて、主任研修の修了者がどのくらい関わったかということを含めた地域の好事例集のようなものを作成して、来年度以降、自治体や主任相談支援専門員に提案ができるよう、ブラッシュアップも含めて年内にできるといいと確認した。</li> <li>・主任研修、初任者研修との連動性を演習指導者養成研修も含めてどのように整理していくか、どのように持っていくかというところはもう一度、整理していないといけないのではないか。</li> <li>・同時に、主任研修や現任研修修了者の人材育成、地域作りの在り方、それぞれの研修との差別化についても整理が必要ではないかという意見が出たので、1月、2月、3月あたりで整理したい。</li> <li>・今年度の現任研修が目前にきているので、協力者も含めて昨年度と同じチームで動き出しているが、来年度はメンバーを変更していくべきとの意見があった。</li> <li>・遅くならないところで、研修の振り返り、ブラッシュアップ、インターバルの整理、現任研修の来年度以降の体制の在り方について意見をまとめた方がいい。</li> <li>・専門コース別研修は、藤田委員と事務局で具体的に検討していくことは確認できた。検討会で意見をもらうため、次回の検討会までにある程度の企画案を提示してもらい、年内に実施する。</li> <li>・来年度以降の専門コース別研修の在り方や計画は、来年度の具体的なテーマを含めた2年から3年の長期的なスパンについて、今年度中に抑えていく方がいいのではないか。</li> <li>・藤田委員からは国で示されている意思決定支援の研修内容を東京都版にするために、中身自体は検討が必要ではないかとの意見があった。</li> </ul>
藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会の中で、主任研修の内容についても専門コース別研修の中にといった意見があるので、どのように併合させて研修を組むかというところも考えていかななくてはいけない。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の連動性は、基本的に大きなテーマになってくる。それぞれのグループで年間活動計画として詰めたものが、スケジュールとして進んでいくと思う。</li> <li>・この年間活動計画案は議事録が完成したところで、事務局から委員の皆様にご配ってほしい。</li> <li>・協力していただくメンバーの方へのお願いの方針について、事務局から説明をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの委員ではない方への協力のごお願いについては、昨年度まではチームから直接お願いしていた。ご意見を踏まえて、今年度は事務局からお願いすることとする。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早く走り出したいということであるが、5月中にお願いしたい人をチームから事務局に挙げていただき、その方にお願いする形で良いか。</li> </ul>
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修検討チームの中で決めなければならないことがいろいろあり、5月中では少し遅いと思う。できれば今週中にでも連絡を取って、来週以降の話し合いにスタートから入ってくれるとありがたい。</li> </ul>
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現任研修検討チームは、昨日打合せが全部終わってしまったので、新しいメンバーには後半から入ってもらう。5月中に声をかけるのは厳しい。年度後半ということにしたい。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力していただくメンバーについては東京都から依頼をすることの確認が取れたかと思う。</li> <li>・検討事項5、年間活動方針及び計画案について改めて承認いただきたい。</li> </ul>
吉澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム編成の見直しを適宜柔軟にできるということは、余白として残していただきたい。主任研修も次を見越して考えていく必要がある。</li> </ul>
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の委員の方はこの形で進めていくが、ボランティアで協力していただける方については都度柔軟にということに合わせて了承で良いか。</li> </ul>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承認する。</li> </ul>

## 6 閉会

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての議事について承認いただいたので、今年度のスケジュールについては以上で進めていく。</li> <li>・検討会の資料の公開については出席している検討会の委員の皆様の意見によって決めることができることになっている。</li> <li>・今年度も昨年度と同様に、議事録と配布資料は東京都心身障害福祉センターのホームページに公開させていただきたい。</li> <li>・事務局に次回までの事務連絡をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回の検討会は8月13日金曜日午前中で設定する。</li> <li>・メーリングリストについては、初任者研修検討チームの新しい方に確認し、決定したら登録する。他のチームについては変更なしでスタートさせる。</li> </ul>

## 令和3年度東京都相談支援従事者研修検討会 年間活動方針及び計画案について

### 年間活動方針案

- 相談支援従事者現任研修の教材を研修で使用し、検証する。
- 相談支援従事者初任者研修及び主任研修について、昨年度の研修を検証し、プログラムのブラッシュアップを図る。
- 安定的な研修の実施及び質の担保を図るため、研修講師（協力者）の養成と確保について検討する。

### 検討体制(チーム編成)案

検討体制	メンバー(検討会委員)	メンバー(既国研修受講者等)
初任者研修	◎杉田 泉 堤 愛子 蛭川 涼子 池田 克子 花形 朗子	
演習指導者養成研修	◎花形 朗子	(令和2年度の講師)
現任研修	◎中島 美穂子 藤田 博文 藤井 亘 吉澤 浩一 北川 悦子	
【新】専門コース別研修	藤田 博文	
主任研修	◎吉澤 浩一 池田 克子 杉田 泉	(令和元年度国の主任研修受講者)

◎：令和2年度リーダー

※必要に応じて、既国研修受講者等にチームメンバーとして協力を求めることができる。

チーム編成の見直しと協力者への依頼は適宜柔軟に行う。

※研修講師の養成と確保については、委員長及び初任者・現任・主任研修チームリーダーを中心に素案を作成し、第2回以降の検討会で検討する。

# 年間活動計画案

	研修 スケジュール	検討会 議題	チーム活動内容		
			初任・演指	現任・専コ	主任
5月	現任決定 ↓	① 委員長選定 ・年間活動方針、検討体制、スケジュール ・現任研修について	・チーム編成 ・演習ノートの修正		・チーム編成 ・昨年度研修の検証
6月	↓		・演指研チームに繋ぐ	・現任講義の実施	
7月	↑ 演指 申込み決定 ↓ ↑ 初任者 申込み決定 ↓		・演習ノート・ツールの確定	・現任演習の実施	
8月	現任研修実施	② 初任者研修・演指研・専コ研修について ・研修講師の養成について		・専コ研企画案提出	・企画案修正
9月	↓	9/15-17 国研修	・初任者講義の実施	・来年度の協力者を検討 ・現任研修の終了	・講義講師の選定 ・演習講師の選定
10月	演指		・演指研の実施 ・初任者演習の実施	・振り返りとブラッシュアップ	・事前課題の確定
11月	初任者研修実施	③ 国研修報告 ・主任研修について ・研修講師の確保について			・資料の作成
12月				・年内に専コ研の実施	・資料の作成
1月				・来年度以降の専コ研テーマの検討	・資料の確定
2月	主任実施		・初任者研修の終了 ・演指研の終了		・研修の実施
3月	演指	④ 年間活動のまとめ ・来年度への引継ぎ			・研修の終了

※専門コース別研修の日程は未定